

2 学期始業式あいさつ

おはようございます。

夏休みが終わり今日から2学期が始まります。皆さんにとってどんな夏休みでしたか？

私は、この夏休み中に、皆さんが、クラブの試合や発表会、就職活動、進学講習などに、真剣に取り組んでいる姿をたくさん見ました。

夏休みの始めは、野球部の夏の大会の応援に行きました。日々の練習の成果を発揮し、5回戦に進出し、ベスト8をかけて興国高校に挑みました。残念ながら興国には敗れましたが、ほぼ互角の戦いだったと思います。大阪府で公立高校としてベスト16に残ったことはとても立派でした。

8月の1週目は札幌で開催された全国インターハイに陸上部の応援に行きました。暑い中、5日間の開催で集中力やコンディションを維持するのが大変だったと思います。そんな中、女子走り幅跳びの高宮さんの5位をはじめ3名の選手が8位以内に入賞するなど、昨年に続き素晴らしい結果を残してくれました。

一方で、近畿大会で出した自身の記録を超えることができなくて、思うような結果を出せず悔しい思いを抱いた選手もいました。しかし、インターハイがゴールではありません。先日行われた大阪高校総体では女子が総合優勝し、新たな歩みを始めています。様々な大会を競技生活の通過点と捉え、大会で経験したことを今後の競技に活かして欲しいと思います。

夏休み中のすべての大会や発表会に行くことはできませんでしたが、ソフトテニス部も全国インターハイ出場を経験し部全体のモチベーションアップに繋がっています。男子バスケットボール部も体育科の全国大会で優勝を成し遂げました。これ以外のクラブもさまざまな大会で練習の成果を発揮してくれました。

さて、先日車を運転しながら、FM ラジオを聴いていると、「行合の空」という言葉を耳にしました。なんと綺麗な響きの言葉だなあと感じました。行くという字に集合の合で「ゆきあい」と読みます。(皆さん頭の中でイメージできますか)

ちょうど、積み雲や積乱雲のように夏らしい雲と、うろこ雲やすじ雲のような秋らしい雲が同時に空に見えるような状態を、古くから日本語で「行合いの空」と呼んでいるようです。

「行合い」つまり、「出会い」と「またがること」です。

夏から秋へすぐに切り替わるわけじゃない、行き来し合うように順を追って少しずつ少しずつ変わっていく、ということです。

今年も暑かった夏でした。それを乗り越えた自分自身にお疲れさんと言ってあげてください。この夏休みに皆さんが頑張ったこと、経験したこと、感じたこと、様々な思いを大切にしながら次につなげる。つまり、次の目標に移りかわることで自分をさらに成長させることができます。少しずつ、ゆっくりと。この「行合いの空」と同じように。

2 学期は体育祭や文化祭など友人と関わり、自身が成長する場面が多くあります。就職試験や指定校推薦の面接もそうです。部活動の秋の大会も始まります。大会での緊張ももちろん心の成長につながります。

空の雲が季節によって少しずつ変わっていくのと同じように、小さな緊張をコツコツ経験し、心を少しずつレベルアップさせましょう。

これが2 学期の皆さんと私の目標です。

皆さんの心と身体の成長に期待して、始業式の挨拶とします。